



へき地・複式教育実習 フォーラム(成果報告会)



当実習は、県内各地の学校・教育機関、地域の方々の多大なるご協力・ご支援に支えられ14年目を迎えました。全国的にも稀な特色ある取り組みとしてますます注目されています。人間関係が希薄化していく一方で、「絆」の重要性が再認識されている今こそ当実習の持つ意義を考える機会ともいえるでしょう。当フォーラムでは、本年度の成果の一端を発表するとともに、転換期を迎えた当実習の今後の方向性についても議論したいと思います。

テーマ【教員養成における地域密着型教育実習の意義】

「へき地・複式教育実習」は、全国でも非常に稀な、実習校地域内での滞在型(ホームステイ型)のオプション教育実習(希望学生参加)です。当フォーラムでは、まず、この実習で、実習生は学校や地域で何を体験し、学び、どう成長したのかを明らかにし、地域密着型実習の意義を探ることとします。また、地域における学校の役割、学校と地域が連携して子どもを育てる意義やその必要性などを再考する機会になればと考えています。さらに、当教育実習をはじめとした教員養成のあり方やへき地学校の抱える教育課題について意見を交わし、大学と地域の学校との双方に利益のある「協働」について検討したいと思います。



平成27年度 受入校一覧



大自然・伝統と特色ある地域性・個に応じた一人ひとりを大切に教育そして人々の温かさ
教育の原点・日本の原風景の中で学生らは何を体験し何を学び、どう成長したのか？

—2015年度 へき地・複式教育実習フォーラム（成果報告会）実施内容—



- 日時** 2016年3月4日（金）13:00 受付 13:20 開会～16:30 閉会
- 主催** 和歌山大学教育学部（教育実習委員会・附属教育実践総合センター）
- 後援** 和歌山県教育委員会
- 会場** 和歌山大学教育学部講義棟 <http://www.edu.wakayama-u.ac.jp>
〒640-8510 和歌山市栄谷 930
- 対象** 当実習の関係者各位、県内小学校教職員および教育関係者その他学生・一般参加可
- 進行** 13:20 開会挨拶 瀧 寛和（和歌山大学 学長）／永井邦彦（和歌山大学教育学部長）
13:35 テーマ別発表
（テーマ例：ホームステイ先での学び、体験学習での学び、実習協力校での学び等）
14:20 実習生による成果ポスターセッション （休憩10分間）
15:10 ポスターセッションの講評
《実習校関係者、学外教員（他大学の実習担当者）、一般学生、その他当会参加者より》
15:40 本年度の総括 泉 京子／谷口千明（和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター 客員教員）
16:00 「へき地・複式教育実習」のこれまでと今後の実習改革へ向けた提案
豊田充崇（和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター 実習改革プロジェクト）
16:10 当事業について 和歌山県教育委員会より
16:20 閉会挨拶 岩野清美（和歌山大学教育学部 教育実習委員長）（※16:30 終了予定）

■問い合わせ先 和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター（平日 10:00-17:00）
直通電話：073-457-7537（実践センター事務）／電子メール：j-staff@center.wakayama-u.ac.jp

※参加費は無料です。参加対象者は限定していませんので、どなたでも参加できます。

◇申し込み方法：上記電子メールアドレスにて直接メールで受け付けます。

（締め切り：3月3日（木）中に送付してください。）

- ・タイトル：「実習フォーラム参加申し込み」
- ・メール本文：（所属機関／役職／氏名のみお書きの上、送付してください。）

※電子メールが送付できない状況の場合は、電話または Fax でもお伺いしますのでご連絡ください。

※当日参加も可能です。

但し、参加受付名簿および資料の準備の都合がありますので、できるだけ上記電子メールアドレスにて申し込みをお願いします。